

# 文化経済学会<日本> 2019年度 研究大会

- 日 程 2019年6月29日(土)・30日(日)
- 会 場 名城大学天白キャンパス
- 大会テーマ 「2020年東京オリ・パラへの文化経済学的接近」
- 主 催 文化経済学会<日本>

## <<プログラム>>

### 2019年6月29日(土) 受付開始：9:00～

10:00～11:45 分科会①《会場 A: N102、B: N103、C: N104、D: N105》

- ①-A 文化統計
- ①-B 文化産業①
- ①-C 思想と文化
- ①-D 会員企画セッション  
「劇場における芸術を通じた社会関係資本の形成について」  
—「ala まち元気プロジェクト」の事例から—

11:50～12:50 ランチタイム / 理事会 会場：N237

13:00～15:00 特別セッション1《会場：N102》

「観光と文化経済学～<文化>のまなざしと<経済>の視点の交差～」  
パネリスト：神崎宣武（旅の文化研究所所長）

※特別セッション  
1,2は並行して  
行われます。

小泉 凡（島根県立大学短期大学部名誉教授・  
小泉八雲記念館館長（小泉八雲曾孫））

コーディネーター：井口 貢（同志社大学政策学部教授）

特別セッション2《会場：N105》

「食（文化）の海外展開—その可能性と課題」

パネリスト：加藤雅士（名城大学農学部教授）

太下義之（文化政策研究者・独立行政法人国立美術館理事）

鈴木里加子（フードコーディネーター・

法政大学大学院地域創造システム研究所 特任研究員）

コーディネーター：増淵敏之（法政大学大学院政策創造研究科教授）

15:15～17:40 シンポジウム《会場：N101》

「2020 東京オリンピック・パラリンピック大会によるソフトレガシーの形成・継承」

キーノートスピーカー：舛本直文（首都大学東京大学院人間健康科学研究科客員教授）

谷本歩美（コマツ女子柔道部助監督／

アテネ・北京オリンピック金メダリスト）

吉本光宏（ニッセイ基礎研究所社会研究部研究理事）

パネリスト：キーノートスピーカー3名

八木 匡（同志社大学経済学部教授）

コーディネーター：横山勝彦（同志社大学スポーツ健康科学部教授）

18:00～19:30 懇親会 会場：名城大学天白キャンパス タワー75 レセプションルーム

### 2019年6月30日(日) 受付開始：9:00～

10:00～11:45 分科会②《会場 A: N102、B: N103、C: N104、D: N105》

- ②-A 文化政策
- ②-B スポーツ
- ②-C 創造都市
- ②-D 会員企画セッション  
「地域社会と芸術のしなやかさ」  
—変容し続けるシンガポールから日本への示唆—

11:50～12:30 総会《会場：N106》

12:30～13:30 ランチタイム / プログラム委員会

13:30～15:15 分科会③《会場 A: N102、B: N103、C: N104》

- ③-A 観光
- ③-B 文化産業②
- ③-C 会員企画セッション  
「創造する地域社会の構想」

# 《分科会プログラム》

■ 6/29 (土) 分科会 ① 10:00~11:45

## ①-A 文化統計

座長：牧 和生

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
N102	高良 佑樹	Clustering Countries into Culturally-Resembling Groups Using Cultural Goods Trade Data	勝浦 正樹
	谷口 みゆき	Has Income Inequality Caused Consumption Inequality of Art and Culture in Japan?	八木 匡
	有馬 昌宏	大学生の芸術需要構造に関する計量分析	牧 和生

## ①-B 文化産業①

座長：宮崎 刀史紀

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
N103	中原 逸郎	有職文化継承の場としての花街—祇甲・上七軒の年中行事を中心に—	宮崎 刀史紀
	瀬藤 康嗣	「パレートの法則」と「ロングテール」の「共存」：AKB48 総選挙の得票数の分析から	阪本 崇
	金井 秀介	Customer Value Creation, Marketing Strategy and Management Resources -The Cases of Small Local Cinemas-	後藤 和子

## ①-C 思想と文化

座長：片山 泰輔

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
N104	藤原 旅人	アートボランティアから市民社会参加へ～緩やかな紐帯と段階的社会的参加の創発から～	熊倉 純子
	奥野 耕平	文化財保護の意義についての史的考察—1871年(明治4)「古器旧物保存方」から2018年(平成30)改正「文化財保護法」まで—	井上 敏
	本田 洋一	人間発達支援と現代文化資本論の課題—アーレント「仕事」論の意義	清水 裕子

## ①-D 会員企画セッション

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
N105	半田 将仁／ 西田 充晴／ alaまち元気プロジェクト参加者 1名程度	劇場における芸術を通じた社会関係資本の形成について—「alaまち元気プロジェクト」の事例から—	佐々木 雅幸

■ 6/30 (日) 分科会 ② 10:00~11:45

## ②-A 文化政策

座長：吉田 隆之

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
N102	三宅 美緒	アートプロジェクトボランティアによる評価実践	吉田 隆之
	志村 聖子	舞台芸術におけるアーカイブをめぐる論点と展望—海外の文化政策と事例をもとに—	河島 伸子
	後藤 和子	ミュージアムの評価指標と評価手法—その現状と課題	佐々木 亨

## ②-B スポーツ

座長：吉本 光宏

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
N103	小林 壘／ 横山 勝彦	公共放送による広聴制度の一考察—東京2020オリンピック・パラリンピックを事例に—	吉本 光宏
	米村 真悟	子どもの「居場所」となるスポーツプログラム—社会的インパクトを視点に—	川井田 祥子
	内藤 正和／ 横山 勝彦	スポーツと文化の政策融合に関する一考察—東京オリンピック・パラリンピックのレガシーを視点に—	太下 義之

**②-C 創造都市**

座長：佐々木 雅幸

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
N104	鳥羽 都子	レジデンス、プロジェクト、コミュニケーションへの岐阜県美術館の取組みについて—博物館施策と社会の変化に対応する地方公立美術館の試み	衛 紀生
	前田 厚子	革新と継承を担う創造の場の形成過程 —京都や金沢に立地する教育研究機関と工芸作家の相互作用—	萩原 雅也
	野田 邦弘	創造的人材集積と創造都市・創造農村 ～クリエイティブ・クラスターの可能性と課題	佐々木 雅幸

**②-D 会員企画セッション**

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
N105	南田 明美／ 齋藤 梨津子／ 伊志嶺 絵里子	地域社会と芸術のしなやかさ —変容し続けるシンガポールから日本への示唆—	

**■ 11:50～12:30 総会（会場：N106）****■ 6/30（日） 分科会 ③ 13:30～15:15****③-A 観光**

座長：井口 貢

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
N102	山本 史門	観光財源に関する経済・財政面の影響の検討・整理	井口 貢
	敷田 麻実	観光における自然資源の文化資源化のプロセスの分析と課題	野田 邦弘
	藤原 恵洋	建造物文化財は稼げるか ～文化財保護法改正（2019年4月1日施行）がもたらす文化財観変容の効果と課題	勝又 英明

**③-B 文化産業②**

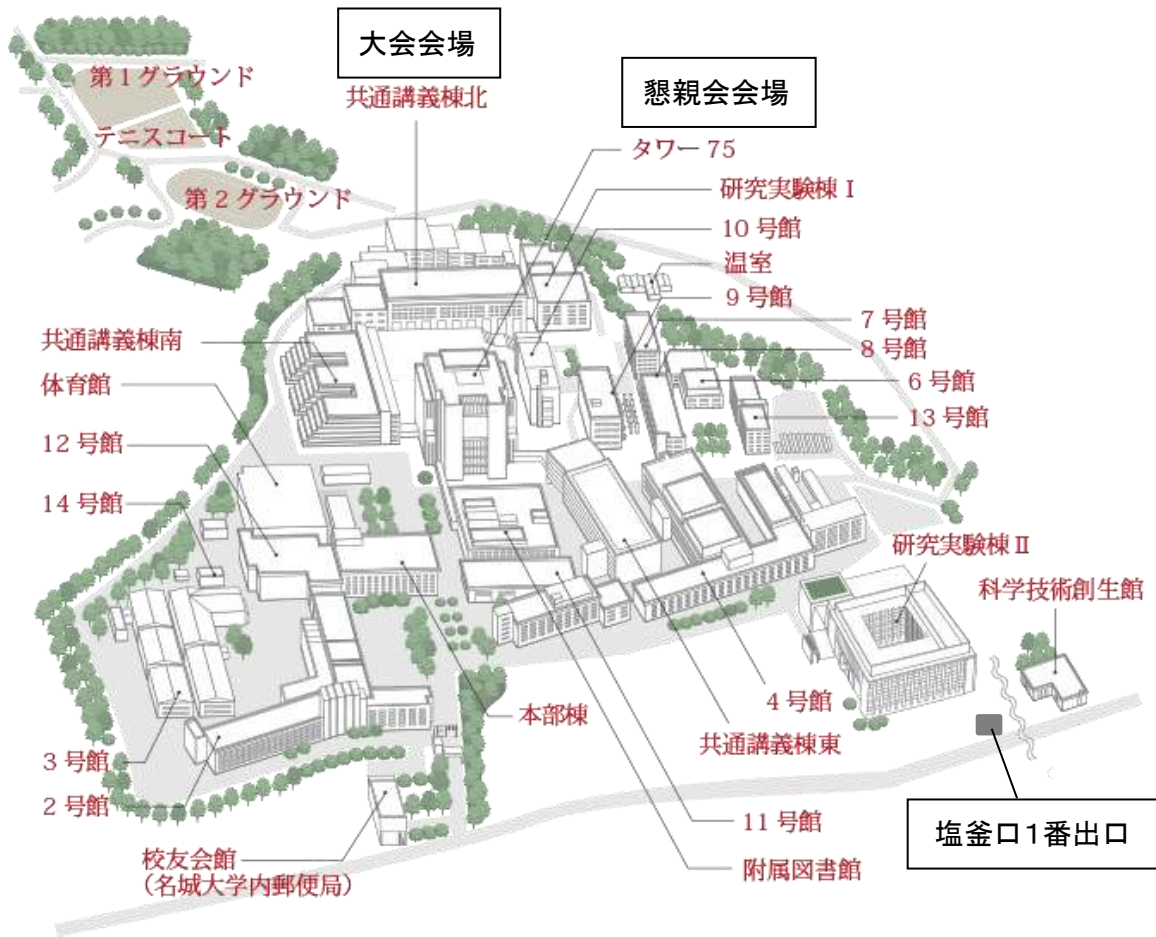
座長：高島 知佐子

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
N103	加藤 康子	趣味縁による都心空間の暫定利用と表出行為	草加 叔也
	佐藤 政行	伝統産業としての日本の自動車産業 承認図の壁を打ち破る独立型自動車ティア2企業の実証研究	八木 匡
	森崎 美穂子	食文化と果樹生産の考察：栗の日仏比較から	増淵 敏之

**③-C 会員企画セッション**

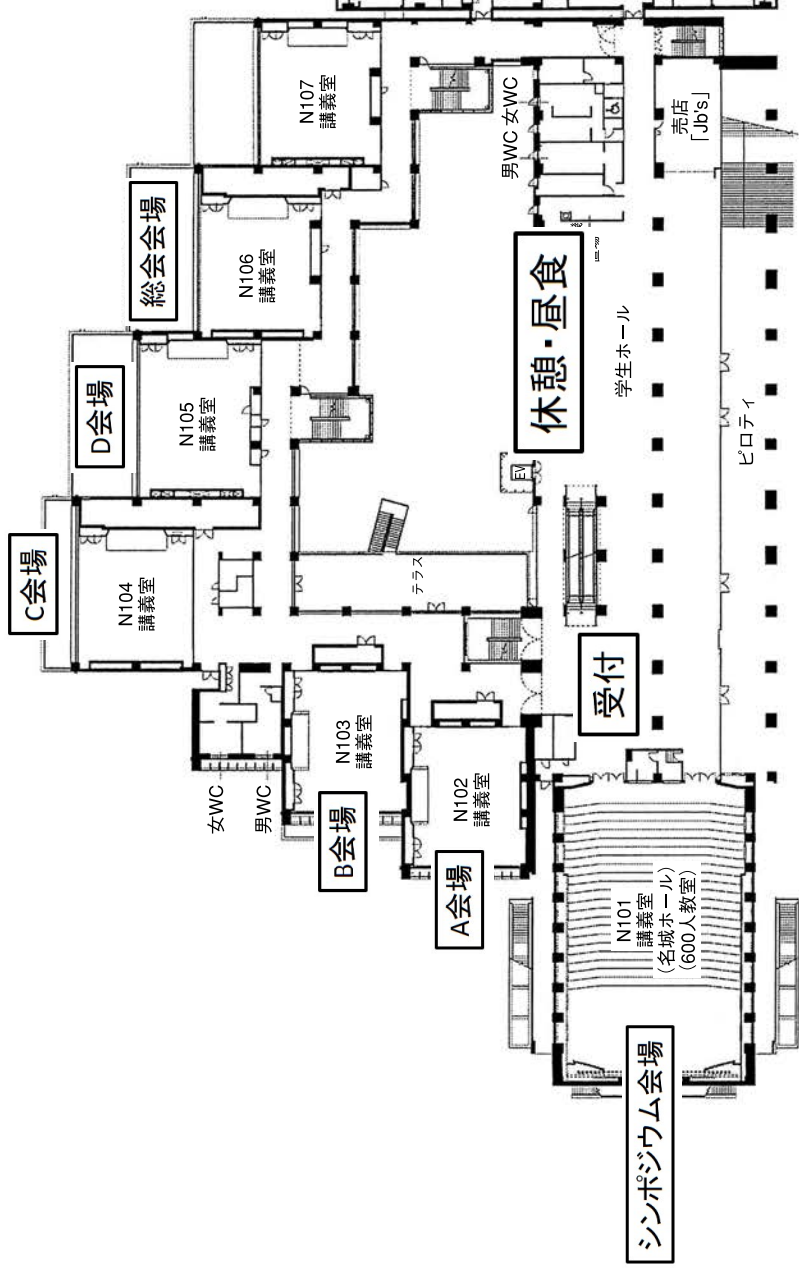
モデレーター：佐々木 雅幸

会場	発表者／共同発表者	タイトル	ゲストコメンテーター
N104	清水 麻帆／ 鈴木 美和子／ 竹谷 多賀子／ 田代 洋久	創造する地域社会の構想	山崎 亮



名城大学 天白キャンパスマップ

# 共通講義棟北(N) 配置図



～ 2019 年度 秋の講演会のご案内 ～  
2019 年 10 月 26 日(土) 午後  
「都市部から地方への移住現象について(仮)」  
鳥取大学 湖山キャンパス 地域学部棟  
(鳥取県鳥取市湖山町南 4-101)

※上記日程等は変更になる場合がありますことご了承ください。詳細は順次、学会ホームページ等で広報されますので、適宜ご参照ください。

文化経済学会<日本>事務局

TEL:03-5981-9824 FAX:03-5981-9852 e-mail:g018jace-mng@ml.gakkai.ne.jp

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 1-24-1-4 階 (株)ガリレオ 学会業務情報化センター内

学会ホームページ:<http://www.jace.gr.jp/>